



■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	2013年8月30日から2033年8月25日まで	
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目標に、積極的な運用を行うことを基本とします。	
主要投資対象	ベビーファンド	主として親投資信託「スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)の受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。
組入株式制限	ベビーファンド	①株式への実質投資割合には、制限を設けません。ただし、株式以外の資産への実質投資割合は、原則として投資信託財産総額の50%以下とします。 ②外貨建資産への投資は行いません。
	マザーファンド	①株式への投資割合には、制限を設けません。ただし、株式以外の資産への投資割合は、原則として投資信託財産総額の50%以下とします。 ②外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎決算時(8月25日、休業日の場合は翌営業日)における経費控除後の利子・配当収入および売買益(評価益を含みます)等の分配対象額の範囲内で、委託会社が基準価額の水準および市場動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。	

スパークス・少数精鋭・ 日本株ファンド

第8期 運用報告書(全体版)

(決算日 2021年8月25日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、『スパークス・少数精鋭・日本株ファンド』は、このたび、第8期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社
東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

< お問い合わせ先 >

リテールBDマーケティング部

電話：03-6711-9200(代表)

受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			TOPIX (配当込み)		株式組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
4期(2017年8月25日)	16,836	250	33.1	2,302.79	25.1	96.5	794
5期(2018年8月27日)	20,536	250	23.5	2,546.17	10.6	96.4	1,201
6期(2019年8月26日)	17,685	0	△13.9	2,228.89	△12.5	96.9	835
7期(2020年8月25日)	20,320	0	14.9	2,514.26	12.8	96.1	703
8期(2021年8月25日)	26,751	0	31.6	3,058.62	21.7	94.4	640

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「TOPIX(配当込み)」です。

(注4) 東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時(1968年1月4日終値)の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所はTOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		TOPIX (配当込み)		株式組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率	
(期首)	円	%		%	%
2020年 8月25日	20,320	—	2,514.26	—	96.1
8月末	20,139	△ 0.9	2,503.59	△ 0.4	96.9
9月末	21,550	6.1	2,536.14	0.9	96.7
10月末	21,278	4.7	2,464.21	△ 2.0	95.4
11月末	23,096	13.7	2,738.72	8.9	97.0
12月末	23,709	16.7	2,819.93	12.2	97.1
2021年 1月末	23,403	15.2	2,826.50	12.4	97.6
2月末	23,853	17.4	2,914.58	15.9	98.2
3月末	25,925	27.6	3,080.87	22.5	96.2
4月末	25,726	26.6	2,993.46	19.1	96.4
5月末	25,154	23.8	3,034.76	20.7	96.4
6月末	25,924	27.6	3,070.81	22.1	95.3
7月末	26,062	28.3	3,003.91	19.5	95.4
(期末)					
2021年 8月25日	26,751	31.6	3,058.62	21.7	94.4

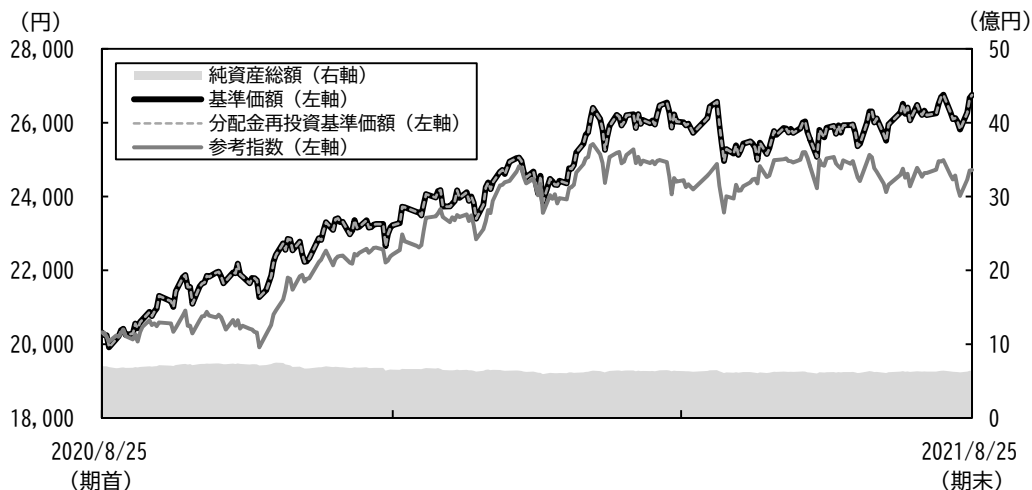
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

■ 運用経過

1) 基準価額等の推移 (2020年8月26日～2021年8月25日)

基準価額は期首に比べ31.6%(分配金再投資ベース)の上昇となりました。



第8期首：20,320円

第8期末：26,751円(既払分配金0円)

騰落率：31.6%(分配金再投資ベース)

- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「TOPIX(配当込み)」です。
- ※ 参考指数は期首(2020年8月25日)の基準価額に合わせて指数化しております。

2) 基準価額の主な変動要因

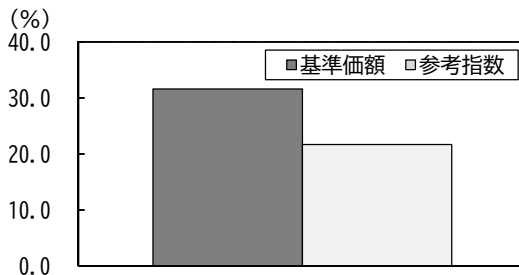
当ファンドは、スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド(以下、マザーファンドといいます。)を通じて、日本の株式に投資をしております。

マザーファンドは、ボトムアップ・リサーチを通じて、株価と実態価値が大幅に乖離(バリュギャップ)していると判断される銘柄に絞り込んで投資をしました。当期は、業績を大きく拡大したコンサルティング企業や、ファインセラミックスメーカーなどが底堅い決算を発表したことなどが好感されました。一方で、業績予想が株式市場の期待を下回った農薬メーカーや、業績動向が低調であった通信計測機器メーカーの株価が下落しました。当期の基準価額は市場を上回る結果となりました。

3) ベンチマークとの差異

- ※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。
右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ※ 参考指数は「TOPIX(配当込み)」です。

当ファンドの基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)



第8期
(2020/8/26 ~ 2021/8/25)

(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

■ 投資環境

当期の日本株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大が続いたことや、米中対立が世界経済への重荷となることが懸念され、一進一退でのスタートとなりました。その後、新型コロナウイルスのワクチンの実用化や、世界的な低金利政策が維持されることへの期待、堅調な企業業績などを好感し、上昇基調となりました。

2021年に入ると、米国で民主党のバイデン政権が本格的に稼働し、米国の追加経済対策への期待が高まり、日本株式市場は上昇を強めました。その後、先進国を中心にワクチン接種が進むと、世界経済の回復から、米国では長期金利やCPI(消費者物価指数)が上昇し、株式市場ではリスク回避の動きが強まりました。

日本国内では新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、緊急事態宣言が繰り返されました。期末にかけては、半導体不足から自動車の減産が決定されるなど、日本株式市場は上値の重たい状況で当期を終えました。

■ ポートフォリオ

< スパークス・少数精鋭・日本株ファンド >

当ファンドは、主としてマザーファンドを通じて、日本の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目標に積極的な運用を行うことを基本としています。マザーファンドの組入比率は高水準を維持しました。

< スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド >

マザーファンドではボトムアップ・リサーチに基づき、逆張りの発想で、徹底した調査から、株価と実態価値が大幅に乖離(バリュウギャップ)している企業を中心に投資を行いました。

当期中に新規に組入れた主な銘柄は

- ① 市場参加者が注目していないために株価が割安に放置されていた銘柄
具体的には、コールセンターを運営するダイレクトマーケティングミックスや、セラミック部品・マグネシウムを製造する神島化学工業などが上げられます。
- ② 短期的な業績不振など、市場に嫌気される要因があつて割安に放置されていた銘柄
具体的には、無線通信向け計測機器大手であるアンリツや、転職人材紹介会社であるMS-Japanなどが上げられます。

一方、売却した銘柄には

- ① 目標株価に到達した銘柄
具体的には、ベンチャーキャピタル大手企業のジャフコ グループなどが上げられます。
- ② 当初想定していたような業績拡大が見られなかった銘柄
具体的には、通信機器計測器メーカーのsantecや、鉄道信号機メーカーの日本信号などが上げられます。

(主なプラス要因)

当期のパフォーマンスにプラスに貢献した主な銘柄はベйкаレント・コンサルティング、MARUWAなどです。

ベйкаレント・コンサルティングは、IT系コンサルティングに強みを持つ総合コンサルティングファームです。当ファンドでは、働き方改革や、人手不足による労働生産性改善ニーズの高まりから、ITコンサルのニーズが拡大していることに注目し、投資しております。当期、同社はファンドのパフォーマンスにプラスに貢献しました。2021年2月期決算が好調であったことに加え、2022年2月期第1四半期決算も、営業利益が前年同期比+67.2%となったことなどが好感されました。引き続き、当社には追い風が吹いていると思っておりますが、慎重に業績をモニターしていきたいと考えております。

MARUWAは、セラミック加工技術を軸にした、電子機器向け素材・部品メーカーです。ニッチな分野ですが高い世界シェアを持っています。当ファンドでは、自動車の電装化を筆頭に、様々な電子機器における放熱需要の増大に伴う、売上拡大を期待し投資しております。当期、同社の株価はファンドのパフォーマンスにプラスに貢献しました。2021年4月に本決算が発表され、営業利益は前年度比+9.7%で着地しました。新型コロナウイルスが感染拡大し、経済活動が低調な中、2桁に近い増益が達成できました。その後に発表された2022年3月期第1四半期決算でも、営業利益が前年同期比+47.7%であったことなどが好感されました。当ファンドでは、中長期で見れば、電気自動車の増加と共に、同社の業績は成長できると考えております。

(主なマイナス要因)

当期のパフォーマンスにマイナスに影響した主な銘柄はクミアイ化学工業、santecなどです。

クミアイ化学工業は、農薬の国内大手企業です。当ファンドでは、同社が製造する畑作用除草剤に注目しています。当期、同社はファンドのパフォーマンスにマイナスに影響しました。2020年12月中旬に、2020年度決算実績、および2021年度業績予想を発表しましたが、実績は会社計画にほぼ沿った内容でありサプライズはありませんでした。一方、2021年度業績予想は-11.9%の営業減益となっており、市場に嫌気されました。また、6月に通期業績予想を上方修正しておりますが、上期決算の実績は-3.5%の営業減益で終わっており、下期に回復する会社計画に対して、不安を残す結果であったと当ファンドは考えます。引き続き、業績を慎重にモニターしていきたいと思っております。

santecは、光ファイバー用の光通信部品、光計測器の大手企業です。当ファンドでは、計測器は世界シェア30%で2位と推測しており、世界的なデータ通信量増大の恩恵を受けると判断し、投資しました。2021年5月に本決算が発表されましたが、2020年度実績は前年比+51.8%の営業増益と好調でした。一方、2021年度業績予想は前年比+2.0%の営業増益に留まっており、株式市場に嫌気されました。また、米中対立が強まっており、中国向けビジネスの先行きに懸念が広がっています。当ファンドでは、長期では同社の業績拡大は期待できるものの、中期的な視点では、他企業へ投資した方が、ポートフォリオのリスク・リターンが改善すると判断し、当期中に保有株式を全て売却いたしました。

〔 組入上位10銘柄 〕

前期末(2020年8月25日)

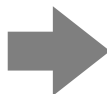
	銘柄名	比率(%)
1	MARUWA	8.6
2	バイカレント・コンサルティング	7.6
3	クミアイ化学工業	6.8
4	エフピコ	5.0
5	TOTO	4.9
6	三浦工業	4.7
7	シップヘルスケアホールディングス	4.5
8	全国保証	3.6
9	ニチハ	3.5
10	関東電化工業	3.2

※ 比率は対純資産(マザーファンドベース)

当期末(2021年8月25日)

	銘柄名	比率(%)
1	MARUWA	7.9
2	バイカレント・コンサルティング	6.0
3	TOTO	4.8
4	全国保証	4.6
5	マックス	4.2
6	クミアイ化学工業	4.0
7	ニチハ	3.8
8	日本エム・ディ・エム	3.8
9	シップヘルスケアホールディングス	3.7
10	竹内製作所	3.6

※ 比率は対純資産(マザーファンドベース)



■ 今後の運用方針

< スパークス・少数精鋭・日本株ファンド >

マザーファンドの組入比率は、引き続き高水準を維持し、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行います。

< スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド >

今後の運用方針といたしましては、引き続きボトムアップ・リサーチを通じ、株式市場が注目していない企業群の中から、成長性のある企業を発掘し投資するアプローチを継続していきます。この投資アプローチのリターンの源泉は、投資先企業の将来の利益成長に対して株価が割安である点です。その意味で、バリュウ(割安株)投資となります。そして同時に利益成長も考慮に入れているという意味でグロース(成長株)投資にもなります。2021年に入ってから、米国の景気回復・金利動向の変化をベースに、バリュウ相場、グロース相場といった議論が続いています。極端な例では、来月がバリュウ相場かグロース相場かを予想し、投資先企業を変えているケースもあるようです。当ファンドは「バリュウ相場だから、グロース相場だから、XXX社に投資する」ことはありません。個々の企業を調査分析し、株式市場が折り込み切れていない利益成長を見出し、株価が割安と判断された場合に投資するアプローチを徹底・継続していきます。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向等を勘案して、分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、信託財産中に留保し、当ファンドの基本方針及び今後の運用方針に基づき運用させていただきます。

〔 分配原資の内訳 〕

(単位：円 1万口当たり・税込み)

項 目	第8期 (2020年8月26日～ 2021年8月25日)
当期分配金 (対基準価額比率)	— (—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	16,751

(注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注2) 該当欄に数値がない場合は「—」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	2020年8月26日～2021年8月25日		
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投 信 会 社)	485円 (262)	2.037% (1.100)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(210)	(0.882)	・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(13)	(0.055)	・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式)	11 (11)	0.046 (0.046)	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・有価証券等を売買する際に発生する費用
(c) その他費用 (監 査 費 用)	26 (4)	0.109 (0.017)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(22)	(0.092)	・法定書類等の作成、印刷費用
合 計	522	2.192	
期中の平均基準価額は23,818円です。			

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

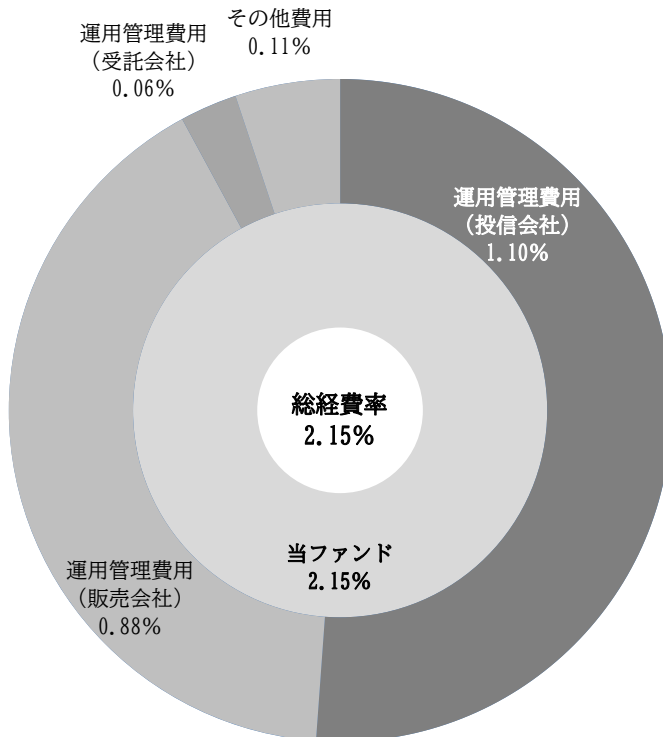
(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.15%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 親投資信託受益証券の設定、解約状況（2020年8月26日から2021年8月25日まで）

項 目	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド	千口 32,593	千円 94,807	千口 124,706	千円 355,628

(注) 単位未満は切り捨て。

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,691,982千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,529,745千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	0.66

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

■ 親投資信託における主要な売買銘柄（2020年8月26日から2021年8月25日まで）

株 式

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
マ ッ ク ス	48.7	79,825	1,639	ペイカレント・コンサルティング	13.9	358,497	25,791
ダイレクトマーケティングミックス	19.8	67,269	3,397	ジャフコ グループ	15	100,596	6,706
ア ン リ ツ	32.5	66,621	2,049	M A R U W A	6.8	74,664	10,980
神 島 化 学 工 業	15.1	34,941	2,314	第 一 工 業 製 薬	12.7	54,470	4,288
J C U	8.9	32,092	3,605	アジアパイルホールディングス	105	52,829	503
s a n t e c	14	30,347	2,167	エ フ ピ コ	11.6	50,514	4,354
M S - J a p a n	33.8	28,293	837	三 浦 工 業	9	49,809	5,534
コマースOneホールディングス	3.6	25,090	6,969	関 東 電 化 工 業	58.8	45,314	770
M A R U W A	1.6	17,553	10,971	ク ミ ア イ 化 学 工 業	47.3	44,437	939
日本酸素ホールディングス	7.6	17,047	2,243	芝 浦 電 子	16.1	44,332	2,753

(注) 金額は受け渡し代金。

■ 利害関係人との取引状況等（2020年8月26日から2021年8月25日まで）

- (1) 当期中の利害関係人との取引状況
 当期中における利害関係人との取引はありません。
- (2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高
 該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況（2020年8月26日から2021年8月25日まで）

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況（2020年8月26日から2021年8月25日まで）

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細（2021年8月25日現在）

親投資信託残高

項 目	前 期 末	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド	285,116	193,002	639,399

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況（2021年8月25日現在）

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成（2021年8月25日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド	639,399	98.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	7,797	1.2
投 資 信 託 財 産 総 額	647,196	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年8月25日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	647,196,888 円
コール・ローン等	7,638,476
スパークス・少数精鋭・ 日本株マザーファンド(評価額)	639,399,128
未 収 入 金	159,284
(B)負 債	6,812,055
未 払 解 約 金	159,284
未 払 信 託 報 酬	6,311,700
未 払 利 息	20
そ の 他 未 払 費 用	341,051
(C)純 資 産 総 額(A-B)	640,384,833
元 本	239,384,122
次 期 繰 越 損 益 金	401,000,711
(D)受 益 権 総 口 数	239,384,122 口
1万口当たり基準価額(C/D)	26,751 円

■ 損益の状況

当期 (自2020年8月26日 至2021年8月25日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	△ 2,388 円
支 払 利 息	△ 2,388
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	155,842,535
売 買 益	194,643,624
売 買 損	△ 38,801,089
(C)信 託 報 酬 等	△ 14,064,189
(D)当 期 損 益 金(A+B+C)	141,775,958
(E)前 期 繰 越 損 益 金	30,587,901
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	228,636,852
(配 当 等 相 当 額)	(91,727,975)
(売 買 損 益 相 当 額)	(136,908,877)
(G)合 計(D+E+F)	401,000,711
(H)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	401,000,711
追 加 信 託 差 損 益 金	228,636,852
(配 当 等 相 当 額)	(91,727,975)
(売 買 損 益 相 当 額)	(136,908,877)
分 配 準 備 積 立 金	172,366,247
繰 越 損 益 金	△ 2,388

<注記事項(当期の運用報告書作成時では監査未了)>

① 期首元本額	346,186,342 円
期中追加設定元本額	39,457,274 円
期中一部解約元本額	146,259,494 円

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

② 分配金の計算過程

項 目		第 8 期
費用控除後の配当等収益額	A	- 円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	B	141,061,769 円
収益調整金額	C	228,634,464 円
分配準備積立金額	D	31,304,478 円
当ファンドの配対象収益額 (E=A+B+C+D)	E	401,000,711 円
当ファンドの期末残存口数	F	239,384,122 口
1万口当たり収益配対象額 (G=E/F×10,000)	G	16,751.34 円
1万口当たり分配金額	H	- 円
収益分配金金額 (I=G×H/10,000)	I	- 円

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	－円
----------------	----

■ お知らせ

2021年5月26日付で下記の通り投資信託約款の変更をいたしました。

- ・当ファンドの信託期間を10年延長するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド

第 8 期

決算日 2021年8月25日

(計算期間：2020年8月26日～2021年8月25日)

「スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド」は、2021年8月25日に第8期の決算を行いました。以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第8期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	①ベンチマークや業種にとらわれず、市場価値と独自の分析に基づく本質的な価値との乖離（以下「バリュギャップ」といいます。）が大きく、魅力的と判断したわが国の中小型株式銘柄群を中心に、20銘柄から40銘柄程度に集中投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して、積極的な運用を行います。また、株式市場の状況によって、大型銘柄により多くの投資機会があると判断される場合には、大型銘柄にも積極投資します。 ②株式への投資にあたっては、ボトムアップ・リサーチに基づき、各銘柄のバリュギャップを測定し、銘柄選定・ポートフォリオの構築を行い、長期的な投資時間軸を持つことで、マーケットに埋もれている投資機会の発掘に努めます。
主要投資対象	金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。
組入制限	①株式への投資割合には、制限を設けません。ただし、株式以外の資産への投資割合は、原則として投資信託財産の50%以下とします。 ②外貨建資産への投資は行いません。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		TOPIX (配当込み)		株式組入比率	純資産総額
	円	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率		
4期(2017年8月25日)	18,915	36.0	2,302.79	25.1	96.9	百万円 791
5期(2018年8月27日)	23,871	26.2	2,546.17	10.6	96.7	1,198
6期(2019年8月26日)	20,994	△ 12.1	2,228.89	△ 12.5	97.1	2,659
7期(2020年8月25日)	24,635	17.3	2,514.26	12.8	96.3	2,653
8期(2021年8月25日)	33,129	34.5	3,058.62	21.7	94.6	2,706

※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「TOPIX(配当込み)」です。

※ 東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時(1968年1月4日終値)の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所はTOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

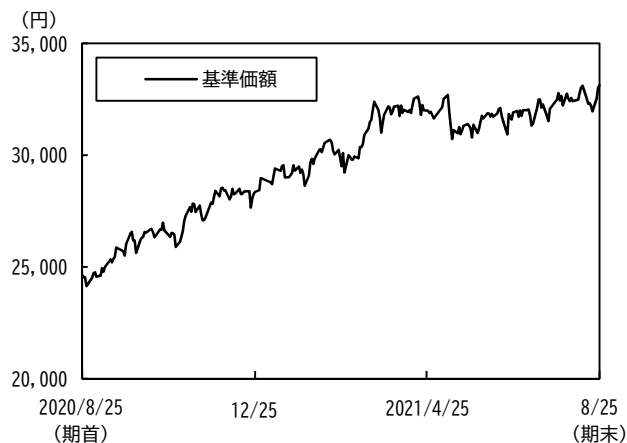
■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 価 額		TOPIX (配当込み)		株 式 組 入 比 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
(期 首) 2020年 8月25日	24,635	—	2,514.26	—	96.3
8月末	24,424	△ 0.9	2,503.59	△ 0.4	97.1
9月末	26,182	6.3	2,536.14	0.9	96.6
10月末	25,899	5.1	2,464.21	△ 2.0	95.1
11月末	28,159	14.3	2,738.72	8.9	97.0
12月末	28,957	17.5	2,819.93	12.2	96.9
2021年 1月末	28,633	16.2	2,826.50	12.4	97.5
2月末	29,227	18.6	2,914.58	15.9	98.4
3月末	31,830	29.2	3,080.87	22.5	96.1
4月末	31,643	28.4	2,993.46	19.1	96.1
5月末	30,994	25.8	3,034.76	20.7	96.3
6月末	31,997	29.9	3,070.81	22.1	95.3
7月末	32,224	30.8	3,003.91	19.5	95.2
(期 末) 2021年 8月25日	33,129	34.5	3,058.62	21.7	94.6

(注) 騰落率は期首比です。

■ 基準価額等の推移

当期末の基準価額は33,129円となり、第8期の騰落率は34.5%となりました。



期 首	高 値	安 値	期 末
2020/8/25	2021/8/25	2020/8/28	2021/8/25
24,635円	33,129円	24,148円	33,129円

◆運用の詳細につきましては、3～6ページをご参照ください。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2020年8月26日～2021年8月25日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料 (株 式)	13円 (13)	0.045% (0.045)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・有価証券等を売買する際に発生する費用
合 計	13	0.045	
期中の平均基準価額は29,181円です。			

(注1) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 期中の売買及び取引の状況 (2020年8月26日から2021年8月25日まで)

株 式

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	千株	千円	千株	千円
上 場	208 (37)	471,040 (-)	477 (-)	1,220,941 (-)

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) ()内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,691,982千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,529,745千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	0.66

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

■ 主要な売買銘柄 (2020年8月26日から2021年8月25日まで)

株 式

買		付		売		付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
マ ッ ク ス	48.7	79,825	1,639	ペイカレント・コンサルティング	13.9	358,497	25,791
ダイレクトマーケティングミックス	19.8	67,269	3,397	ジャフコ グループ	15	100,596	6,706
ア ン リ ツ	32.5	66,621	2,049	M A R U W A	6.8	74,664	10,980
神 島 化 学 工 業	15.1	34,941	2,314	第 一 工 業 製 薬	12.7	54,470	4,288
J C U	8.9	32,092	3,605	アジアパイルホールディングス	105	52,829	503
s a n t e c	14	30,347	2,167	エ フ ピ コ	11.6	50,514	4,354
M S - J a p a n	33.8	28,293	837	三 浦 工 業	9	49,809	5,534
コマースOneホールディングス	3.6	25,090	6,969	関 東 電 化 工 業	58.8	45,314	770
M A R U W A	1.6	17,553	10,971	ク ミ ア イ 化 学 工 業	47.3	44,437	939
日本酸素ホールディングス	7.6	17,047	2,243	芝 浦 電 子	16.1	44,332	2,753

(注) 金額は受け渡し代金。

■ 利害関係人との取引状況等 (2020年8月26日から2021年8月25日まで)

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況 (2020年8月26日から2021年8月25日まで)

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況 (2020年8月26日から2021年8月25日まで)

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2021年8月25日現在)

国内株式

銘柄	期首 (前期末)		当期末	
	株数	株数	株数	評価額
	千株	千株	千株	千円
建設業(1.6%)				
安藤・間	76.9	50		40,700
食料品(1.6%)				
宝ホールディングス	35	30.4		41,800
化学(18.5%)				
関東電化工業	113.2	54.4		54,944
日本酸素ホールディングス	20.3	27.1		69,999
日本化学工業	29.6	29.1		95,448
第一工業製薬	12.7	—		—
JCU	6.6	15.5		62,930
クミアイ化学工業	167	119.7		107,131
エフビコ	15.9	19.9		82,784
ガラス・土石製品(18.8%)				
神島化学工業	—	15.1		34,941
アジアパイルホールディングス	105	—		—
TOTO	28	21.5		129,645
MARUWA	25.6	20.4		213,588
ニチハ	37	34.4		103,165
機械(16.8%)				
三浦工業	28.5	19.5		96,330
オルガノ	14.4	10.1		61,509
竹内製作所	31.8	37.6		98,737
マックス	12	60.7		112,719
新晃工業	41	28.1		60,864
電気機器(5.8%)				
山洋電気	11.1	12.8		87,680
日本信号	38.9	—		—
アンリツ	—	32.5		60,937
santec	7.7	—		—
新電元工業	7.5	—		—
芝浦電子	16.1	—		—
精密機器(4.0%)				
日本エム・ディ・エム	41.6	44.5		102,884

銘柄	期首 (前期末)		当期末	
	株数	株数	株数	評価額
	千株	千株	千株	千円
その他製品(2.6%)				
パイロットコーポレーション	20.4	15.7		66,489
陸運業(2.0%)				
京成電鉄	13.1	14.8		50,320
情報・通信業(0.5%)				
コマースOneホールディングス	—	7.2		13,622
卸売業(4.8%)				
シップヘルスケアホールディングス	24.5	36.6		101,235
バリュエンスホールディングス	8.6	7.5		21,000
小売業(5.0%)				
ビックカメラ	31.8	30.6		33,078
ZOZO	15	14		57,750
サイゼリヤ	21.2	14.7		36,117
証券・商品先物取引業(—%)				
ジャフコグループ	15	—		—
その他金融業(4.8%)				
全国保証	24.6	22.9		123,202
不動産業(2.4%)				
トーセイ	73.5	52.2		61,126
サービス業(10.8%)				
ベイカレント・コンサルティング	17.1	3.2		163,520
MS-Japan	—	33.8		35,253
ダイレクトマーケティングミックス	—	19.8		78,705
合計	株数	金額	株数	金額
	1,188	2,560,160	956	2,560,160
	銘柄数<比率>		35銘柄	33銘柄
				<94.6%>

(注1) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2021年8月25日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2021年8月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 2,560,160	% 94.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	147,147	5.4
投 資 信 託 財 産 総 額	2,707,307	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年8月25日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	2,707,307,160 円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	102,087,205
株 式	2,560,160,000
未 収 入 金	44,588,955
未 収 配 当 金	471,000
(B)負 債	715,164
未 払 金	555,601
未 払 解 約 金	159,284
未 払 利 息	279
(C)純 資 産 総 額 (A-B)	2,706,591,996
元 本	816,981,971
次 期 繰 越 損 益 金	1,889,610,025
(D)受 益 権 総 口 数	816,981,971 口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C/D)	33,129 円

< 注記事項(当期の運用報告書作成時には監査未了) >

1. 期首元本額	1,077,005,811 円
期中追加設定元本額	32,593,268 円
期中一部解約元本額	292,617,108 円
2. 期末元本の内訳	
スパークス・少数精鋭・日本株ファンド	193,002,846 円
スパークス・少数精鋭・日本株・ベータヘッジファンド(適格機関投資家販売制限付)	623,979,125 円

■ 損益の状況

当期 (自2020年8月26日 至2021年8月25日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	38,439,926 円
受 取 配 当 金	38,530,650
そ の 他 収 益 金	695
支 払 利 息	△ 91,419
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	755,744,584
売 買 益	823,550,272
売 買 損	△ 67,805,688
(C)当 期 損 益 金 (A+B)	794,184,510
(D)前 期 繰 越 損 益 金	1,576,223,227
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	62,213,893
(F)解 約 差 損 益 金	△ 543,011,605
(G)合 計 (C+D+E+F)	1,889,610,025
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	1,889,610,025

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

該当事項はありません。